

# 応急手当講習テキスト

## (成人用)

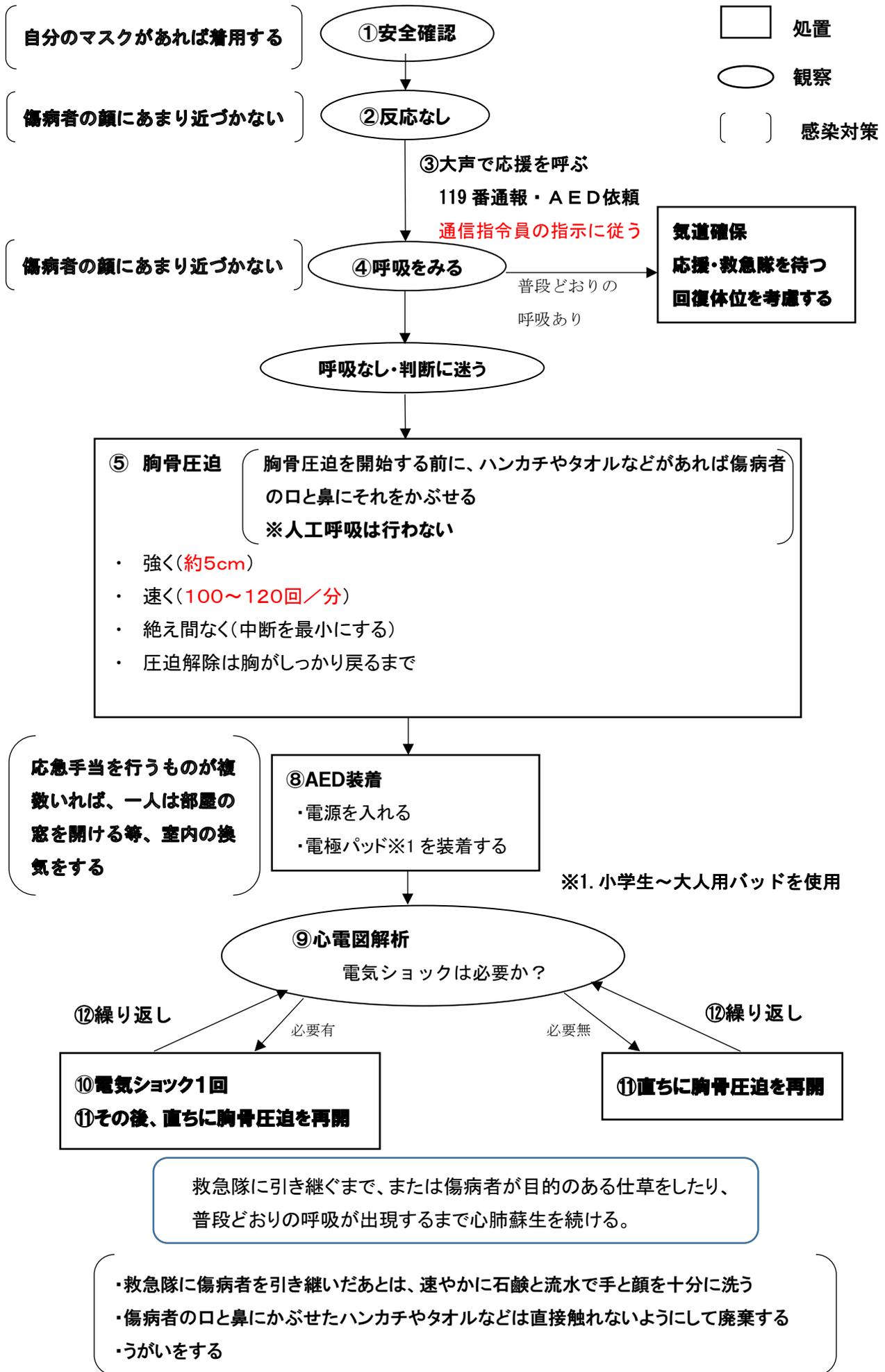
ガイドライン 2020ver.  
〈 感染症対応 〉



救命の連鎖

名張市消防本部 名張消防署

# 救命処置の流れ(心肺蘇生とAEDの使用)



**※感染対策**

すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして対応する。  
自分のマスクがあれば着用する。

## 心肺蘇生法の手順

### 1. 反応の確認



わかりますか？

- 倒れている人の肩を軽く叩きながら呼びかけ、反応を確認する。

**※感染対策**

傷病者の顔にあまり近づかないように注意する

### 2. 通報とAED



119番に通報し、  
AEDを持って来て！

- 反応がない場合、大声で応援を呼ぶ。
- 119番に通報、AEDを手配する。  
(誰もいない場合は、自分で行う)

### 3. 呼吸をみる



- 胸とお腹の動きを見る。
- 呼吸がないか、普段どおりでない場合や、判断に迷う場合は呼吸が止まっていると判断する。

**※感染対策**

傷病者の顔にあまり近づかないように注意する

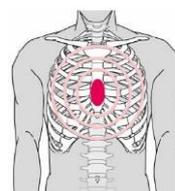
## 4. 胸骨圧迫



### ※感染対策

胸骨圧迫を開始する前にハンカチや  
タオルなどを口と鼻にかぶせる

※人工呼吸は行わない



- 胸骨の下半分を圧迫（胸の真ん中）
- 深さは、約5 cm
- 速さは、毎分100～120回のテンポで行う。

### ※感染対策

応急手当を行うものが複数いれば、一人は部屋の窓を開ける等、室内の換気をする

# AEDが到着したら



## 1. 電源を入れる



- AEDの電源を入れる。
- 音声ガイダンスとランプに従い操作する。

## 2. AEDのパッドを貼る



- 電極パッドは、右前胸部と左側腹部に貼り付ける。(肌にしっかり密着させる)

### 3. 傷病者から離れ、心電図解析



- AEDのパッドを貼り付けると、自動的に心電図の解析が始まります。この時、「離れて！」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認する。

### 4. 必要なら通電ボタンを押す(※)



- 通電ボタンを押す際は、必ず自分が傷病者から離れ、さらに誰も傷病者に触れていないことを確認する。

#### ※注意

オートショック AED の場合、電気ショックボタンがなく、自動で電気ショックが実施されるため、音声ガイダンスをよく聞き、指示に従う。

AEDを使用する場合でも、AEDによる心電図の解析や電気ショックなど、やむを得ない場合を除いて、心肺蘇生法の手順を、できるだけ絶え間なく続けることが大切です。

#### ※感染対策

- ・ 救急隊に傷病者を引き継いだあとは、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う
- ・ 傷病者の口と鼻にかぶせたハンカチやタオルなどは、直接触れないようにして廃棄する
- ・ うがいをする